

サマボラ！2022

報告

2022年7月28日（木）
29日（金）



3年ぶりの開催！

「サマボラ！2022」と題して、学内向けのボランティア団体フェアを開催しました。このイベントは、学内の学生と、学内外のボランティア団体とをつなぎ、ボランティア活動の魅力周知や活動内容の普及を行い、夏のボランティア活動の機会を提供するイベントです。本センターの学生コーディネーターが中心となり、新年度早々から準備を行ってきました。

学内の3団体（S C O K、東日本きずなプロジェクト、グリーンカーテン世話し隊）、学外の8団体（八王子市立愛宕小学校、社会福祉法人荒川区社会福祉協議会、NPO法人NICE（日本国際ワークキャンプセンター）、認定NPO法人JUON（樹恩）NETWORK、東京八王子ビートレインズ、公益社団法人東京都障害者スポーツ協会（※資料のみ）、スープの会、町田市障がい者青年学級）の皆様に出展いただき、2日間合計で56名の来場者にお越しいただき、盛況のうちに終了しました。各団体の活動に結び付いた学生も複数名おり、参加者の満足度は非常に高いイベントとなりました。

当日の様子を写真にてご紹介します。

サマボラ！2022 ギャラリー



▲準備や呼び込みの様子



▲各団体ブース相談の様子

参加者事後アンケート

【参加者の皆様より】

- 来場して良かった。社会に貢献する活動に思いを感じた。各団体の方々と交流でき新鮮で刺激的な話を聞いた。
- 知らなかった活動を知れて良かった。この夏ボランティア活動をしてみたい思いが強まった。
- 自分の成長や変化、居場所になるという視点が分かった。
- 今後に繋がる話を聞くことができた。
- 様々なボランティアの情報を得ることができ、とても有意義であった

【出展団体の皆様より】

- 実際に興味のある学生がブースに足を運んでくれるので説明などしっかり聞いてくれるが、もっとたくさんの学生にアプローチできたらよかった。
- 学生と繋がる機会となった。また、様々な活動を行う学生と話をし、学生が活動を行なう上で感じていることや活動への思いを聞くことができた。
- オンラインメインの活動の中、サマボラに参加することでメンバーと直接会ってコミュニケーションがとれたことも嬉しかった。
- 両日とも学生と話せて、とても楽しい時間でした。